



カットワーク アーティスト の世界



1 今年ももう残すところ、あと2ヶ月になりました。年末・年始に向けての慌ただしさを考えつつ、息抜きも兼ね、つい最近インテリアショップに行きました。レジ近くではもうすでに、X'masコーナーが設けてあって、ツリーのキラキラとした飾りがゴージャスな雰囲気演出し、パールのついたゴールドのラメ金属のリースや、様々な色・香りのキャンドルなども雰囲気を盛り上げていました。



2 そしてまた別のコーナーでは、来年2009年のカレンダーやダイアリー(手帳)が出ていたので、いろいろと見ていました。

その中で目を引いたのが、カットワークアート(切り絵)を使った作品です。その多くは植物や花、蝶、動物、家具、シャンデリア、といった女性が好きなモチーフを淡い色合いでかわいく仕上げた作品やモノトーンでモダンにお洒落に仕上げたもの、またその技法を組み合わせ立体的に楽しめる作品もあり、その内容は多様です。

3 この「カットワーク(切り絵)」、前身といわれる【切り紙】の文化は中国ではすでに1千年も前から行なわれており、世界の切り紙の中でも最も古い歴史を持つと言われ、日本も中国からの伝承によるといわれています。ヨーロッパの切り紙は鳥や花、人々をモチーフとした左右対称あるいは放射線状を基本としたシンプルな模様が多く見られます。日本での【切り絵】の歴史はまだ浅く、その前身の切り紙は古い時代から、現代に受け継がれています。その多くが、神事、仏事の際に使われる祭事用ですが、他に正月の飾り紙、七夕の飾り紙、障子の引き手の切り透しなど。また伊勢型紙、京の型友禅。沖縄の紅型などの染の型紙、その他数多くの美術工芸や民芸品の中にも伝承されています。

4 インテリアやステーションリーとして、現代支持されているのはどちらかというと、ヨーロッパ調の流れをくんでいるスタイルのようです。

「カットワーク」には不思議な魅力があります。紙や素材が醸し出す質感やハンドメイド調の暖かさ。アートとして1つの世界観がそこに完成されています。観ていて飽きないのは私だけでしょうか？

皆様もぜひ、お気に入りを探しにお店にくり出されてみてはいかがでしょうか。

国民の問題！



10月から政管健保が解体され
「全国健康保険協会
(通称・・・協会けんぽ)」へ

その中身は複数の保険や年金の種類があります。社会保険制度には「社会保険」「介護保険」「労働保険」と3つに分かれ、その「社会保険」の中の「医療保険」の中に、社会保険庁が運営している「政府管掌健康保険」があります。

これが民営化されたのです。保険料を都道府県別に替え、医療費抑制を図るのが狙いですが、それに伴って、詳細事項が発表されると思いますが、その内容はそれぞれが、気をつけて確認しておいたほうがよさそうです。

日本国が管理監督者となつて行なっている社会保険事業では病気・ケガ・身体障害・死亡・老齢・失業などが起きたときに保険制度の加入者やその家族に対して保険給付を行ない、生活を保障する制度を総称して「社会保険制度」と呼んでいます。富山では来年一月以降に被保険者証の方も、「協会けんぽ」の被保険者証へ切り替えが行なわれます。

よる、医療費格差が問題視されています。

社会保険事務所での業務が全く無くなるというわけではなく、それぞれ担当が分かれているようです。

協会けんぽの行なう業務は●被保険者証の発行 ●保険給付 ●レセプトの点検 ●健診 ●任意継続手続きなどです。



ー11月のお花ー
サフラン

花言葉【青春の喜び】

赤いめしべが薬用や料理に用いられます。この花のように今年はパープルが流行色です。洋服や小物でも多く出ています。ちょっと大人な色を自分なりにアレンジしてみましょう！

～お知らせ～

別紙の通り、3S(株)高岡本社では、TEL・FAX番号が変更になります。

お手数をおかけしますが、今後共よろしくお願い致します。

